

## 実施体制及び国内外のネットワーク

<b>提案主体名</b>	中村勉＋ソーラーシリコンテクノロジー株式会社
<b>提案プロジェクト名</b>	創エネ・ゼロカーボンで自給自足するコミュニティ計画
<b>① 実施体制(構成主体と役割分担)</b>	
<p style="text-align: right;">※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。</p> <p>中村勉(工学院大学教授)は2008年より3年間、日本建築学会低炭素社会特別調査委員会の総括代表として、環境省の環境総合推進費により、実際の自治体をモデルとした2050年を目指したまちづくりの研究を都市構造、ライフスタイル・コミュニティ、街区、建築、それらの評価手法など、多面的な角度から続けてきた。この知見を応用し、ソーラーシリコンテクノロジー社が団地全体に太陽光発電・バイオマス発電を中心とした創エネ計画を行い、中村事務所が約56haの団地開発計画及び建築設計を担当し、合わせて2050年の環境理想都市を先取りし、かつ災害の被災地の人たちの新しい移住地として、先進的なゼロカーボン団地計画を計画する予定である。実施体制の詳細については、添付資料の研究の概要や研究成果の一部を参照されたい。</p>	
<b>② 実施体制(プロジェクトマネジメントのための具体的な方法論)</b>	
<p style="text-align: right;">※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。</p> <p>中村勉と中村勉総合計画事務所は、敷地造成計画とコミュニティ形成計画、及び建築計画設計を担当し、ソーラーシリコンテクノロジー社はエネルギー計画を担当する。敷地造成計画は、自然林及び自然の起伏を最大限尊重し、環境共生型の造成計画とし、各住宅敷地においても農業が可能な農のあるエコライフスタイルとエココミュニティを計画する。</p>	
<b>③ 国内外のネットワーク(国内外のベストプラクティスの相互交流のための具体的な方法論)</b>	
<p style="text-align: right;">※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。</p> <p>北欧、英国との政府アドバイザーや企業、大学の地域連携サステナブルプロジェクトなど、中村勉のもつ海外との研究者及び実践者ネットワークを活かし、知見の交流、HPの立ち上げ、視察、シンポジウムの開催などを行うことが考えられる。</p>	
<b>④ 国内外のネットワーク(国内外の都市・地域との連携を強化するための具体的な方法論)</b>	
<p style="text-align: right;">※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。</p> <p>SSTIは太陽発電システムの導入等において全国の各地自治体と様々な取り組みを行ってきた。そのネットワークを通して、全国に点在する未利用地の活用、地域の新エネルギー導入、高齢化や過疎化に等共通する課題に取り組み連携を強化する。また、今までに太陽光発電のODAを通して諸外国との繋がりもあり、海外の都市、地域との連携も推進できる。</p>	